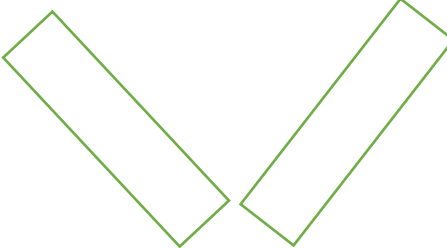


プログラム名：回想法	日付：○年△月△日	時間：13：30～15：30
テーマ：学生時代の呼び名 子供のころに遊んでいた遊具や道具	道具：パソコン・お手玉・だるま落とし・けん玉・めんこ	
目標：初めてであるため、個人が少しでも発言をされ、イキイキとした表情が見られる。 集団になじみ、参加者同士のコミュニケーションを促すこと		
座席：	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">ホワイトボード</div> 	<p>プログラム全体の様子(雰囲気・改善点など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け身的ではあるが、促しや声掛けにより発言されていた。 ・表情よく、ゆっくりとした落ち着いた雰囲気で行うことができていた様子。

氏名	参加の様子(回想内容・発言数・語り口調・表情・集中・意欲・態度)
① 女性 A 様	<p>自発性はないが、促しにより発言見られる。</p> <p>他患意見にも耳を傾け、手を挙げ共感する様子も見られる。</p> <p>呼び名に関しては「料理が好きでよく作っていたから料理の先生・○○ちゃん」と呼ばれていた。</p> <p>また、遊びに関しても「お手玉・縄跳び・缶蹴り」などいくつか挙げられていた。</p> <p>表情はよく、集中して参加されていた印象。</p>
② 女性 B 様	<p>目線合わず、静かであった。しかし、回想法が始まると他患や OTR の声掛けにより発言見られるが自発性・積極性はあまり見られなかった。また、考えている時間がおおく見られる。</p> <p>感想では、「楽しかった。いろんなこと・忘れていたことを思い出せました」と話される。</p>
③ 女性 C 様	<p>開始時は、顔を伏せ自発性はあまり見られなかったが</p> <p>昔の呼び名や遊びのことをお話しなど進んでいくにつれ自発的な発言が見られた。</p> <p>感想に関しても、「懐かしかった」と笑顔で話される。</p>
④ 男性 D 様	<p>消極的で後方の席に座られるが、E 様や OTR の誘いにより集団の中に入り参加することができていた。</p> <p>自発的な発言は少なく首をかしげることが多く見られたが、終了後大塚様に「防空壕にな...」と自ら声をかける様子が見られた。感想では「お宮さんのところで木登りをし遊んでいた。いろんなことをやっとなあ」と話される。</p>
⑤ 男性 E 様	<p>開始時発言少なく受身的であった。</p> <p>次第にこちらの問いかけにいきいきと返答する様子が見られ、最後の感想では「お母さんは早くに死んだ。寂しかった。そこからわんぱくに遊ぶようになったらしい」と笑っている。</p> <p>また、昔の呼び名を開始時に聞いた際には「△△」と言われていたが、過去を思い出していくうちに「△△ちゃんと下の名前で呼ばれてた」と想起されている。</p> <p>こちらが△ちゃんと呼名すると穏やかな表情で「はい」と返答される。</p>
⑥ 男性 F 様	<p>受身的な参加であったが、こちらの問いかけには返答される。</p> <p>「色々やってきたけど忘れてしまっていた」と感想言われ、穏やかな表情見られた。</p>
⑦ 男性 G 様	<p>積極的な発言見られ、他者への促しの声掛けも見られる。</p> <p>表情は明るくいきいきとしており、楽しんで参加されている様子であった。</p> <p>料理のことや遊びのことに関しては積極的にお話をされていた。</p>
⑧ 女性 H 様	<p>幼いころの自身の呼び名を伺った際には「□□ー！とか□□！（旧姓）て呼ばれとったなあ」と何度も教えてくださる。</p> <p>表情は明るくニコニコされながら発言も多く見られた。</p> <p>他患や OTR の呼び名もホワイトボードを見ながら復唱する様子が見られる。しかし、人と名前は一致している様子はなかった。</p>

回想法を取り入れた事によって以下の効果が見られました。

回想法を取り組み開始時には、受け身的に参加される方が多く発言の促しが必要であった。

また入院初期に長谷川式簡易知能評価スケール（HDS-R）を評価からも重度認知症の方から軽度認知症、認知症の疑いなどのさまざまな患者様が参加されていました。

回を重ね患者様が発言しても良い場という認識が変わり、他患とのコミュニケーションをとり、孤独感や不安を軽減。さらに、過去の記憶を発言することで脳が活性化され、再度 HDS-R を実施すると表のように点数が上がっている方、現状維持の方も見られました。また、回想法以外にも実施しているプログラムにも参加が増え、せん妄などの周辺症状（BPSD）が軽減される患者様や他患との交流も増加している患者様も見られました。

HDS-R

参加者	年齢	参加の様子	参加回数 (計7回)	1回目	2回目
女性 A様	80代	表情よくテスト問題や物を作る作業、動画のリクエストに関しては積極的に参加され、次回も楽しみにされている。しかし、気分の変動により易怒的・参加意欲低下の様子がみられる。	5	16	15
女性 B様	60代	カラオケや動画クラブなど音楽のプログラムの参加率は高く。他患に対しても声掛けする様子が見られる。指示的であるが、他患のお話も聞き、OTRに伝えられることができている。最近では、体操やアートにも参加されている。	-	27	-
女性 C様	70代	他プログラムでは、顔を伏せ活気のない印象。また塗り絵に関しても「これは何色がいいかな」など頻回に聴かれることがあり、不安な表情をされていることが多くみられる。他患から声を掛けられるとうなずきながら話を聞いている。	7	7	5
男性 D様	80代	声をかけることなくホールでテレビを見ながら過ごされていることが多い。参加中はOTRの声掛け・促しにより作業に対して協力的である。耳が遠いため近くで声掛けをする必要がある。徐々に参加率低下している。患者様との相乗効果は見られる。	4	25	15
男性 E様	90代	声掛けに行くと「行くわ」と意欲的に返答されるが、ホールに来られると顔を伏せ過ごされることが多い印象。OTRが声をかけると昔の家族のことを話される。	-	10	-
男性 F様	80代	声掛けをすると「参加させていただきます」と丁寧に答えられ、ホールで静かに過ごす。入院当初は、「ここになんで入院したのかわからないので調べてもらってもいいですか」など、不安・混乱(せん妄)状態であった。	6	13	24
女性 G様	70代	OTには、積極的に参加されているが、ホールに来られると自発的に発言はない。しかし、他患により少しずつ発言が見られるようになってきている。参加中は、笑顔でいることが多い。	7	28	28
女性 H様	90代	脳トレの問題に関しては、大きな声で返答される。繰り返し簡単な作業であれば黙々と取り組まれ疲れると自身で休憩もとりながら参加される。受け身的な作業でも促し・誘導によりリクエストされ音楽を聞くと「学生時代のことを思い出して」と涙ぐむ様子が見られた。点滴や環境により、気分の変動見られる。HDS-Rに関しては、質問すると「わからんわからん。頭ばあだで」と拒否的な様子であったため初期評価をとることができなかった。	7	不穩により、測定不能	4